

# 東初石一丁目自治会自主防犯パトロール隊（千葉県）

## 発足経緯と活動概要

皆さん、こんにちは。我がパトロール隊は自治会のスローガンである「安全・安心のまちづくり」、「絆」を大切にして活動しています。

まず、流山市は千葉県の西部に位置し、人口は16万5,000人です。都心から約25km、緑豊かな住宅地で、173の自治会があります。この一つが私どもの自治会で、632世帯、人口1,533人です。ちなみに夏祭りが大好きな自治会です。



次に、私ども自主防犯パトロール隊の発足経緯と活動概要について説明します。平成15年当時、全国各地で子どもたちが被害に遭う事件が発生しました。この状況を踏まえ、「自分たちの町は自分たちで守ろう」と考え、同年7月に防犯パトロール隊を結成しました。これは流山市の1号です。平成17年、自治会の役員会議で更なる体制強化を目指し、自主参加型を決定しました。早速、この年の12月18日、自治会館に22名の方が集合し、自主防犯パトロール隊の第一歩を踏み出しました。

私どもの自治会館は、平成19年10月に千葉県公安委員会から地域防犯情報センターに指定され、パトロール隊の活動拠点となっています。

わが自治会の防犯シンボルマークには「隣近所が見ています！」と書かれています。このシンボルマークのステッカーを全自治会世帯に掲出しています。また、防犯パトロール実施中の旗は自治会内23カ所に設置してあります。

### 自治会館が「地域防犯情報センター」です。



千葉県公安委員会より、平成19年10月10日に「地域防犯情報センター」に指定されました。  
(第39号) パトロール隊の拠点です。

### 自治会の防犯シンボルマークです。



「となり近所が見ています。」  
このステッカーを全自治会員宅に掲出しています。

次に、防犯パトロールの実施方法について説明いたします。防犯パトロールは、自治会館に集合し、昼の部は午後2時30分から実施します。このパトロールは学校の下校時間に合わせ、子どもの安全確保を中心に行っています。夜の部は午後8時から、拍子木、マイクを使って「戸締り」、「火の用心」の呼びかけを行っています。現在のパトロール隊員は男性55名、女性28名の83名で構成されています。パトロール隊は自治会館に自主的に集合しパトロールを開始いたします。

パトロール隊は年2回、講習会と懇親会を開催しています。講習会は流山警察署から防犯に関する講話を聴くとともに、流山市長からご挨拶をいただくこともあります。年2回の講習会は、パトロール隊全員で

開催しています。この講習会は隊員相互のコミュニケーションを図る場となり、活動の源となっています。

## 子ども防犯パトロール隊の発足経緯と活動概要

子ども防犯パトロール隊の発足と経緯、活動状況について説明します。子どもたちもパトロールを行いたいという希望から、小さいときから防犯意識を育てることを目指し、流山警察署、流山市役所に相談して、



平成 19 年 10 月 6 日、子ども防犯パトロール隊が発足しました。毎月第 1 土曜日午後 3 時から町内のパトロールを実施します。防犯チョッキ、帽子の姿で「パトロール実施中」の旗を持ち、町内をパトロールします。小さな子どもは父兄同伴で参加します。パトロール終了後は、犯罪や交通事故に遭わないための勉強会を実施します。自治会館前の公園に 3 時に集合します。

子どもたちのパトロールも慣れたものです。ママと町内をパトロールしたあと、その月のテーマにより交通ルールのお復

習いなど様々な取組を実施しています。

流山警察署交通課の皆さんによる、公園での自転車教室に参加し、自転車の正しい乗り方や自転車の点検方法を勉強するとともに、ヒヤリハット教室を実施しました。流山警察署と流山市役所の皆さんからヒヤリハットの説明を受け、町内の危険箇所を丸印をつけて確認しました。自転車に乗るときは十分注意することもみんなで確認しました。

子どもたちによる交通安全紙芝居も実施し、子どもたちが自分たちで交通ルールについて学びました。また、同じ流山市内の流山市民安全パトロール隊による講話で防犯についてお話を聴きました。

子どもパトロール活動による効果としては、まず、子どもたちの連帯感が生まれました。また、子どもたちに悪いこ

とはだめであると理解させることができ、交通ルールを守る意識が芽生えました。さらに、拍子木の音は火の用心という、この音の意味を説明し、子どもたちが町内パトロールを行った経験はとても意義あることと思います。今後とも、地域の子どもの安全な育成に努めていきたいと思ひます。



## パトロール隊の活動（その1）

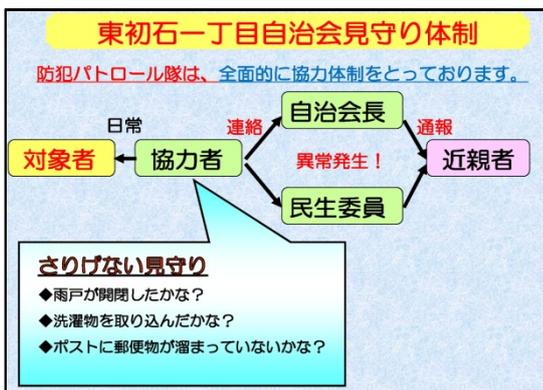
次に、自主防犯パトロール隊の様々な活動について説明します。振り込め詐欺防止やひったくり防止のチラシ配布活動を駅前やスーパーの街頭で行いました。チラシ配布によって、地域の皆さんにご理解とご協力をお願いしました。



## パトロール隊の活動（その2）

また、一人暮らし高齢者の見守り活動を実施しました。これは、自治会の見守りプロジェクト体制に、防犯パトロール隊が全面的に協力して行っています。見守り希望者を把握するため、自治会ではアンケートを実施し、併せて見守り協力者を募っています。見守り協力者は見守り希望者のご近所の方で、さりげない見守りを行っています。

さりげない見守りとは、「雨戸が開いたかな。」「閉まったかな。」「洗濯物が取り込まれたかな。」「郵便ポストにチラシがたまっていないかな。」等を確認する見守りです。ここで異常が発生した場合、協力者は自治会長または民生委員に連絡します。自治会長または民生委員は近親者の連絡先をあらかじめ聞いてありますので、速やかに近親者に通報します。



### リフォーム業者が訪問していました。

昨年確か、壁・屋根工事を行った筈？  
(パトロール隊員は、ピンと感じました。)

ご主人に聞いたところ、業者から壁、屋根の悪い所の写真を見せられて「この様に傷んでいます」と説明され、工事を行う事にしたとの事です。

近所の工務店の方に聞いたところ、「工事の必要は無い」との事でした。

早速、「流山市消費者センター」に相談したところ、この工事は高齢者を狙った「悪徳商法」である事と判明しました。このため、「クーリング・オフ」の契書を郵送し、事なきを得ました。(契約金額は350万円でした。)

見守り活動の具体例について説明します。今年の2月のことです。高齢者ご夫婦の家で足場ができてのを見たパトロール隊は、「何が始まるのだろう」と感じました。昨年秋、確か、壁、屋根の工事を行ったはずで、パトロール隊はピンと感じました。ご主人に聞いたところ、リフォーム業者が何回も訪問して壁、屋根の悪いところの写真を見せられ、「このように傷んでいます。」と説明されて工事契約を行ったとのこと。ご近所の工務店の方に聞いたところ、「工事をしたばかりではないか。まったく工事の必要はない。」とのことでした。

早速、流山市役所消費者センターに相談したら、これは高齢者を狙った悪徳商法であることが判明しました。このためクーリングオフのはがきを郵送し解約ができました。

契約金は 350 万円でした。2日後、業者が足場を撤去し、事無きを得ました。これは自治会長、民生委員、防犯パトロール隊の迅速な連携プレーの賜物と言えます。

東日本大震災当時のパトロール隊の活動について報告します。私どもの流山市は震度5弱の地震に見

舞われました。パトロール隊が当日、自治会内を点検した結果、屋根瓦の破損 28 件、ブロック塀の倒壊 3 件の被害状況を流山市に通報しました。

被害者の中に 83 歳、一人暮らしの方がいました。この方の屋根瓦が約 150 枚落下していました。余震があり瓦の落下が続いていたので、パトロール隊から消防署に通報し、流山市消防隊によりブルーシートによる応急処理をしていただきました。これで一安心ということです。

東日本大震災当日は、上記の点検結果を流山市に報告し、速やかに対処していただきました。また、パトロール隊は「まだ余震があります。特に火の取扱いには十分ご注意ください」とマイクで呼びかけました。そのほか、町内には踏み切りがあり、警報が鳴りやまず交通に支障があるため、交通整理を行いました。以上が東日本大震災当日のパトロール隊の活動です。



### パトロール隊の活動（その3）

高齢者に対する振り込め詐欺講話会について説明します。老人会の施策の一環として、流山警察署主催による振り込め詐欺防止懇話会が開催され、参加しました。若いおまわりさんや女子銀行員による講話会を開き、詐欺には絶対遭わないという強い気持ちを持ちました。

防犯パトロール隊の他の活動について説明します。防犯パトロール実施中の旗の取り替えです。破損や汚れた旗は防犯上好ましくないので、定期的に取り替えています。

また、防犯パトロールニュースを発行しています。これは防犯、防火に関する情報新聞です。防犯パトロール隊が発足した平成 17 年 12 月から現在まで、70 号を発行しています。毎月発行し、全世帯に配布しています。さらに、年末年始の特別警戒出動式に参加しました。

### 活動成果

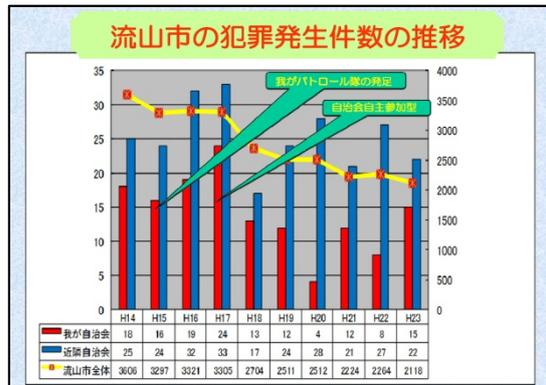
次に、発足当初から現在までの参加状況とその成果について説明します。平成 17 年から毎年、延べ 3,700 人から 3,800 人の参加があります。パトロールに 1 日平均 10 名の自主参加があり、平成 23 年には延べ 3,679 人、1 日平均 10 名の参加でした。パトロール隊は年中無休、暮れ、正月も実施しています。この実績のとおり、安定継続した活動が私どもの強みです。

最後に、活動成果について説明します。自治会内の空き巣、車上ねらい等の発生が少なくなりました。お年寄りから「拍子木の音を聞き安心しています」と感謝の声を聞くことが多く、その声が私どもの励みになっています。データで見ても、このグラフのとおり、わが自治会の犯罪は減少傾向にあります。

また、防犯灯の球切れの早期発見ができるようになり、犯罪防止に貢献しています。さらに、一人暮らしの高齢者の孤独死は発生していません。多くの成果がありますが、主なものを紹介させていただきました。

今後の取組として、私ども自主防犯パトロール隊はますます進む少子高齢化社会に向け、子どもパトロール隊とともに安全・安心のまちづくり、絆を大切に、住みよいまちづくりに向け問題意識を持ち、更なるパ

トロール活動に取り組んでいきます。本日も、パトロールに出発進行！！ カチ・カチ・カチ(拍子木音)。ご清聴ありがとうございました。



## 質疑応答

●質問 全家庭に防犯パトロールニュースをお配りになっているということでしたが、数多くの世帯に、どのように配布しているのですか。また、毎月ニュースをつくるのは大変だと思いますが、どのように作っているのですか。

○回答 私どもの自治会は8ブロックから成り立ち、各ブロックに班長がいますので、その方をお願いして全世帯に配布しています。内容については、インターネットから身近で発生しそうなニュースを選んで掲載しています。ネタには困らない状況です。